

微細藻類用活性剤で サステイナブルな社会の実現に

崇城大学大学院応用生命科学専攻 中畑敏哉さんは、微細藻類（植物プランクトン）を安定的に効率よく増やすことのできる微細藻類用活性剤の開発と販売に取り組んでいる。微細藻類は近年、SDGsの観点から天然色素や健康食品、さらにはバイオ燃料の生産に活用が進められているが、温度や日照などの影響により安定した生産が難しいという問題点がある。同技術は微細藻類を活性化させることによって、微細藻類の生産性向上と安定生産を可能にし、サステイナブルな社会の実現に貢献する。



崇城大学